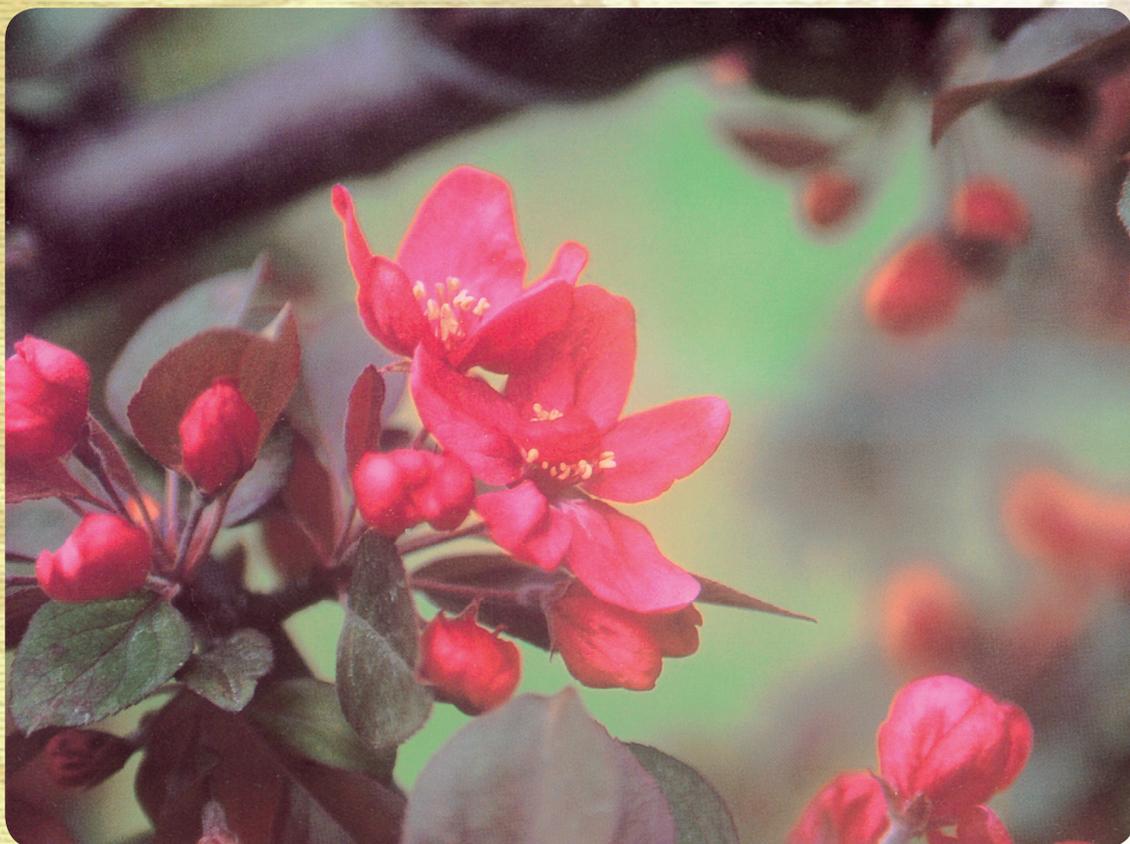


県医労新聞

2012年1月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
編集発行人
中野 るみ子

毎月1回発行1858号(月刊73号)



りんごの花(盛岡「厨川の四季(II)」) 四谷正男

謹んで新春のおよろこびを
申し上げます

大震災津波から今日まで、忘れられないこと・忘れてはいけないことがたくさんありました。必死に前を向いて、これまで頑張ってきた仲間みなさんを誇りに思います。

地域住民のみなさんにとっても、自治体病院の役割がますますかけがえのないものになっているのではないのでしょうか。

しかし、職場はどうでしょう。働く仲間が大切にされているとは、とても思えない深刻な状況が続いています。「7対1看護と病休・欠員が多く年次が取れません」「年次を下さい」「超過勤務を書いたら師長に注意された」「超勤を書かせてほしい。書けない。頑張っているのに書けないのはつらい」これは、医療局長宛てイエローカードに寄せられた声です。加えて度重なる労働条件の改悪。パワハラと法違反が、まかり通っています。

「赤字・黒字」の経営方針最優先で、人手不足には目をつむり耳を貸さず、人としての温かさすら忘れてしまっているのが、医療局当局ではないでしょうか。「人手を増やして!」は、当然の要求です。「安全・安心」のためにも、欠かせないモラルです。

「景気の底」という言葉があります。「これ以上、景気は悪くならないくらい悪くなっている」ということ。現場でも、「人手不足の底(限界)」をついているのではないのでしょうか。

バラバラにさせられ、個人個人が競争させられ、苦しめられている今の状況を打開するためにも、更に組合員を増やして強固な県医労をつくっていきましょう。

今年一年、よろしくお願ひします。

岩手県医療局労働組合

中央執行委員長 中野 るみ子

県医労 2011

地域医療の復興へ



4/15

大槌支部へ支援物資を提供



6/17

県医労60周年「絆」のメッセージを沿岸支部へ



7/22

県の復興計画へパブコメ提出



9/6

知事戦でのふんばり



9/24

地域医療を守る全県交流集会(遠野市)

地域医療を守る運動の決意新たに

花泉地域診療センター―民間移管失敗―

県立病院の地域医療からの撤退の「モデル・ケース」などとして喧伝された花泉地域診療センターの民間移管は、2010年4月の移行当初から常勤医師がいな

い、という異常事態でスタート。県議会でも、どうなっているのかと、追及が

ありました。7月からようやく常勤医師が院長として着任し、入院患者の受け入れも開始されましたが、常勤医は1人のまま。その医師も昨年9月に退職。ところが、医療法人白光は、医師不足ではなく「当直する看護師不足」「赤字」など

を理由に、「県からの補助金なしには撤退せざるを得ない」と表明しました。県立病院（地域診療センター）を廃止し、民間移管する条例改正は、県議会で一票差で可決されました。これまでの経過で、どこに問題があったか、4月から

の取り組みも、大いに広げていくことが求められています。

検証を行うと医療局が表明しています。ここで県・医療局、県議会の責任を明確にさせる必要があります。



花泉問題の県議会傍聴行動で議員を待つ地域住民

県民のため、地域のため 働いた職員はすばらしい！

～看護指導監との懇談～



看護指導監との懇談の様子

12月14日、10時30分～12時まで医療局会議室で看護指導監と看護部会との懇談が行われました。震災の話から、夜勤専従看護師まで幅広く率直に懇談し、職場の状況について訴えました。参加者は、〇〇看護部会長、〇〇副部会長、〇〇中執、本部書記局・中野、〇〇〇〇でした。

■NANDAJUN
NANDAの方向性については、「昨年同様だけれど

も、今年は震災もあつたため研修も含め病院にまかせている」として、NANDAにより超勤が増えているとの組合の指摘に対し回答はありませんでした。

■東日本大震災

大震災について指導監より「県民のため、地域のため、不眠不休で働いた県立病院の職員はすばらしい。指導監としてできることは、休ませることだと思ひ、被災病院への応援を行った。応援の看護師は延べ565人にも上つた。県立病院のネットワークのすばらしさを実感した。就職ガイダンスでもアピールしている」などが話されました。看護部会からは、指導監の気持ちとは逆に、安否確認したくても休めない事実があつたこと、年次が取れないことや、上司が超過勤務を書かせない事実、リーダーの資質に

ついて現場の実態をもとに訴えました。

■労働環境

ワークライフバランスやメンタルの問題でも、人員不足が大きな要因になつていることを指摘しました。

■夜勤専従看護師について

指導監が「夜勤者が少なくなつている。試行したい」としたのに対し看護部会からは、今の悪循環を止める

ためにまず増員するのが先決であり、安全確保の面からも導入には反対であることを表明しました。



〇〇看護指導監と〇〇副主幹

2012年

看護・介護職員全国交流集会 のお知らせ

- 日時 2月11日(土)
- 会場 伊東温泉
「伊東ホテル聚楽」
- 記念講演

「いのちを守る人々」
その実態と労働組合に期待すること
講師 藤田和恵氏 (ジャーナリスト)



伊東に
いこう!

全体で5名、本部負担とします



竹の棒に生地をぬって炭火で焼きます

南部 ワイルドなお菓子作り

使って炭火で焼く？ 想像していたバウムクーヘンづくりには、子どもたちも大喜びでした。11月19日、南部ブロック集会には、4支部から家族あわせて21名が参加。広々としたアストロロマン大東で、心もゆつたりと過ごしました。バウムクーヘンは生地作りから始めて、何回も生地を塗っては焼いてを繰り返し、かんせう！ 市販のもののように「しっとり、ふんわり」とはいきませんですが、手作りのおいしさを味わいました。



バウムクーヘンの出来上がり

三陸 季節のお菓子づくり

震災で開催は無理と思われる三陸ブロックも、11月12日、釜石支部を中心に開催することができました。甲子町の「こすもす創作農家レストラン」で、大豆を使ったモンブランと甲子柿を使ったゼリーを作りました。大豆が栗のような味わいになり、大豆イソフラボンたっぷりのモンブランになりました。また、甲子柿を丸ごと使ったゼリーなど子どもと一緒に楽しみました。集会には、3支部・本部から家族あわせて29名が参加。来年のブロック集会の開催を約束して家路に着きました。



どんなお菓子ができるか楽しみだね



柿ゼリー



モンブラン

12.8 赤紙配布行動

放射能から子どもを守ろう

太平洋戦争開戦から70年目の12月8日、「原発をやめて、自然エネルギーへ転換しよう。放射能から子どもを守ろう」と、昼休みで賑わう盛岡市大通商店街で赤紙配布と原発からの撤退を求める署名を集めました。本部女性部役員8名も参加しました。



子ども連れの若いお母さんも署名を

被災した県立病院の再建を

～母親連絡会が県要請～

11月29日、9地域13団体から29人が参加し、9部局44項目にわたって要請しました。震災復興の課題を中心とした副知事要請では、被災した県立病院の再建を強く要請しました。



宮舘副知事(右)に要請する母親大会連絡会の参加者

県医労青年部

スキー・スノーボード交流会

とき 2012年1月21日(土) 17:00 受付(フロント付近)
 ~22日(日) 18:00 夕食交流会
 9:00 集合写真
 ~終日自由行動

ところ **ホテル安比グランド&タワー** (八幡平市・安比高原)

経費 宿泊費+リフト券代は本部負担とします。
 リフト券不要の方には、各プログラム3000円まで補助をします。
 旅費・日当については各支部でご確認ください。

❄️❄️❄️❄️❄️ プログラム ❄️❄️❄️❄️❄️

屋外

◇スキー・スノーボード
 ○5時間リフト券
 ○8時間リフト券
 ○一般コースレッスン
 (9:50~12:00・13:20~15:30)
 ・半日 3700円+リフト券
 ・1日 4900円+リフト券

◇スノーモビル(9:30~15:30)
 ・トライアルコース3km 1300円
 ・トライアルコース6km 2100円
 ・トライアルコース9km 2800円
 ※リフト券と併用の場合スノーモビル割引券が付いて
 いますので40%割引で利用できます。

◇フィットネススキー(クロスカントリースキー)
 ・2時間レンタル 1500円
 ・2時間以上レンタル 2000円

屋内

◇温水プール(2時間) 1100円
 ◇マシーンジム(2時間) 1100円

◇クライミングボード(2時間) 1100円
 ◇スカッシュコート(30分) 2625円
 ◇リラクゼーション
 メニューについては、HPをご参照ください。



申込み

×切り

1/6(金)

- リフト券の受け渡しやプログラムについての説明、補助を
 超えるプログラム料金の徴収等は受付時に行ないます。
- 別紙、申込用紙に必要事項を記入の上、本部へFAXで
 送ってください。

●申込み・お問い合わせ

TEL 019-623-8271
 FAX 019-623-8273

新春クイズ

新春クイズの回答を、ハガキで応募して下さい。ハガキ1枚につき1問です。正解者の中から、抽選で20名の組合員に記念品を送ります。送りは〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は1月末日（必着）です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つぎやき」

（職場の話題など何でも）を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があります。匿名希望の方は、必ずペンネームをお書き下さい。ただし、当選した場合は、記念品の送りが必要となりますので、支部名・本名の記入もお忘れなく！



2012年 まちがいは7つ



四字熟語 しりとり

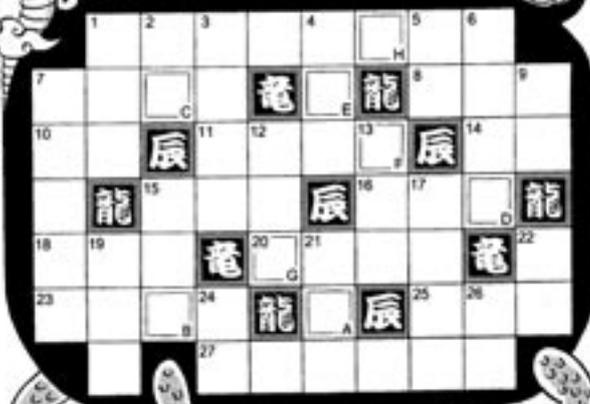
ルール マス目をうめて、6つの四字熟語を完成させてください。



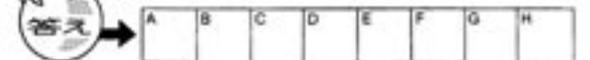
たつ年クロスワード

ヨコのカギ

- 竜の絵を描き前後に目を入れるという四字熟語。——を欠くべからず
- 高い地位に——出世
- 前人——の記録
- ダルマ。——合戦
- 餅やカニなどを売る店
- 贈り物につける紙
- ダイエットしましょう
- 得意の芸。十八番
- 赤ナスとも呼ばれる野菜
- 夜寝るときに着るもの
- 先生の家に住みこんで芸を習います
- 真利な態度。本気です
- 2012年夏にロンドンで開催されます



出題・イラスト ●モロズミ勝



タテのカギ

- 行一、依一、管一
- 利益ともいう
- ペー・コンジョンの愛称
- 奇術・マジックともいう
- ヒダラシやツツクボウシなどの種類があります
- 板を曲線で切れます
- 顔でっかち尻つばみと同じ意味の「——蛇尾」
- ネズミとトラのまん中
- 冷たい空気の一——襲来
- 大船やミカンを売る店
- 「海軍」と書いて?
- 天竜川下流の工業都市でうなぎパイや乾パンが有名
- ピカソと並ぶ近代画家
- 長男と三男のまん中
- 餅（フル）より長寿?
- 謙信から信玄への贈り物
- 回して遊ぶコマの中心棒

びんざき

国民総幸福量の概念に基づき、国づくりをしたブータン国王が来日した。仕事に忙しくても、若い頃は横のつながりがあり楽しかった。今はただ忙しいだけの日々。鍋を囲んで食べながら和みたいですね。幸福度をアップしましょう。

久慈支部 ふるふき大根

夏季休暇を一日もらえなかった人がいたそうでビックリです。また、年次が「今年度取れていない人」「半日のみ」「1日しか取れていない人」がいる事の事実が判明しました。大幅増員を要求していきましょう。

胆沢支部 雪ん子のババ

退院支援をがんばると、なぜか減るのはスタッフだけ。不思議だ。

一戸支部 漆黒の追跡者
今年はいろいろありまし

た。特に「いのち」の大切さについて考えさせられました。なにげない毎日ですが、それを当たり前と思わず、一日一日を大切に過ごしたいです。

中央支部 のんたん

辞める人がいても補充なし。1月には産休に入る人もいます。早めにスタッフを補充して下さい。

中央支部 温泉大好き

永年勤続20年、25年。30

年はありませんが重い年月を感じます。私が若い頃、先輩の年になつたら楽になる、と思つてきましたが、それは夢物語でした。

中央支部 匿名希望

毎日、毎日が、何かにとりつかれたかのように働き、「疲れた…、疲れた…」と毎晩何回言っているのか。でも、週一回の卓球部を楽しむに今日も働くぞ!!

高田支部 ウラさん

11月号パズル 当選者発表

11月号パズル「まちがいは7つ」には30名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

■11月号当選者(敬称略)
ブルーベリー(一戸支部)、じゃがいもの花、温泉大好き、のんたん、匿名希望(中央支部)、のび子、雪ん子のババ(胆沢支部)、かもしかに追われた果、次の10名が当選され(高田支部)、さるぼぼ(大船渡支部)

とんがらし

東日本大震災・津波。地域の復旧の願いを込めて時間は進み、全国・世界からの支援を受けながら新しい連帯が醸しださ

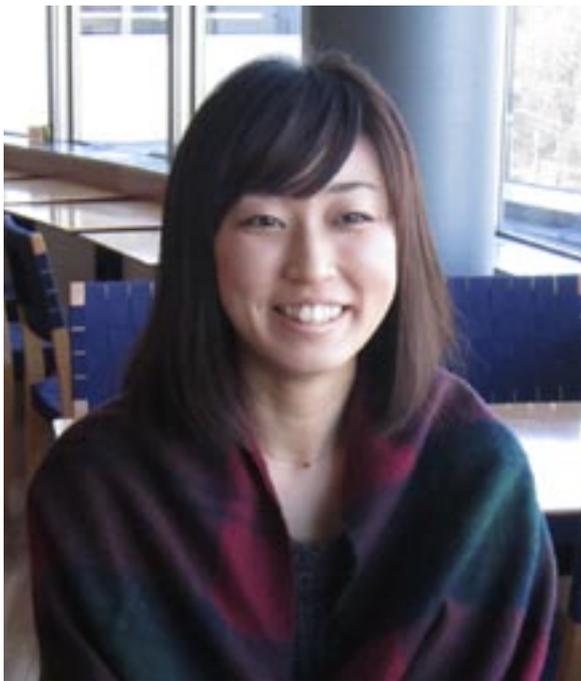
れました。被災した沿岸地域では、仮設住宅で年越しを過ごし、新年を迎えた方々が大勢います。どんな初夢をみたのでしょうか▼阪神・淡路大震災(1995年1月17日午前5時46分)は、まもなく17年を迎えます。未明の直下型大地震。テレビで見た高速道路・高架橋やビルの転倒、大火災、交通機関のマヒ、停電など、大都市での地震の恐ろしさをまざまざと示しました。そして、県医労でもただちにカンパに取り組み、役員を派遣。全国から物心両面にわたるさまざま支援があり、多くの支援団体が結

成されました。▼それ以降、能登半島地震、岩手・宮城内陸地震など、「地震列島」の名に違わぬ、いささか活発な地震が続いていました。阪神・淡路大震災で家を失った市民の運動から被災者生活支援法が、支援運動からNPO法が制定され、災害特別法など政治の役割も問われました▼阪神・淡路大震災の被災者の方々、支援するみなさんは、運動を継続させてきましたが、さて、私たちは何をしてきたのか。身近に大震災が起こってから、いえ、起こったからこそ、問われる責任があるような気がします。被災した公立病院への補助金の率は、特別法で対応されてきたので、今回は改めて交渉が必要でした。被災支援も実態に合わせた応用が必要です。そして何よりも、私たちの継続した支援が被災地の夢を現実にする力です。

新春インタビュー

感謝の思いを忘れない

高田支部 ○○○ ○○ さん



「今年の抱負は、石木院長からいただいた万歩計をつけて、一日一万歩あるくことです」と話す○○○さん

切れ長の目が印象的な○○○○○(○○○○ ○○○)さん。北海道の大学を卒業後、言語聴覚士として高田病院に勤務。震災で大変な思いをしましたが、多くの方々の支援に助けられたこと、何より職員



の団結が強まったことを実感していると言います。「今は、高田病院で勉強して、頑張りたい」と芯の強さものぞかせました。

言語聴覚士としての仕事は？



高田病院で働いてみると、10人中9人は摂食障害の患者さんで、言葉の治療中心の大学の授業とはギャップがありました。高田は高齢者が多く、食べるのが困難な患者さんが多くいます。入院期間中に食べられなくなる患者さん、寝たきり状態で食べる筋力が衰えた方には、チームで協力し、全身の筋肉を鍛えながら食べられるように訓練します。

震災後の職場の様子？



震災後、住田診療センターに寝泊まりしながら勤務していました。共同生活をすすめる中で、いろいろな職種の人たちと関わり、職員同士の団結が強まった気がします。応援の医師は「来る時は不安でいっぱいだったけど、高田病院の職員の明るさに助けられ、励まされた」と言って帰っていききました。

今は、どんなことを？



今は、リハビリ訪問にまわっています。入院していた方だけでなく、自宅が崩壊している方のところもまわっているの、喜ばれています。

「健康講演会」が震災前より回数も増え、月2〜3回のペースでまわって、交流しています。その中で、病院

帰ってからもお菓子や手紙を送ってくださいます。全国からの応援スタッフの出会いも学ぶものが多くありました。なかでも歯科衛生士さんや歯科技工士さんと一緒に仕事をすることが、自分自身のスキルアップにもなりました。応援に来て下さった方々、支援物資を送って下さった方々がいたからこそ、今があるという感謝を忘れません。

にベッドができると聞いて「良かった」という声がたくさん寄せられています。また「売店があると便利」という声に、看護師さんが院内の自動販売機の前に、イス・テーブルを置いて「お休み処」を作りました。訪問リハビリをすること

職場川柳

◇原発NO 未来のために 声出そう
(子どものママ)

◇白鳥は 汚染知らずに えさ求め
(「賠償はないよ」東電社長)

◇大晦日 休んだために 休み減り
(疲れとれない三交替勤務者)

◇被災地に 降り積もる雪 春遠し
(復興を待ちわびる住民)

◇事故収束 信頼回復
急ぐのだ(野田)
(世界から批判を浴びる人)



1月の予定

- 6日(金) いわて労連春闘共闘新春宣伝行動
- 7日(土) いわて労連2012年春闘共闘総会(サンビル)
- 16日(月) いわて労連2012年新春旗開き(サンビル)
- 20日(金) 看護部会(アイーナ)
- 20日(金) 県医労春闘学習会(大観)
- 21日(土) 県医労旗開き(大観)
- 21日(土) 県医労第147回中央委員会(大観)
- 21日(土)~22日(日) 県医労青年部スキー交流会(安比高原)
- 22日(日) いわて労連第45回評議員会(公会堂)
- 25日(水)~26日(木) 日本医労連第43回中央委員会
- 28日(土) 岩手医労連第39回中央委員会
(サンセール盛岡)
- 28日(土) 岩手医労連・同盛岡地区協新春旗開き
(サンセール盛岡)
- 29日(日) 岩手県勤労者囲碁・将棋大会(高校会館)

2月の予定

- 4日(土)~5日(日) 日本医労連東北地方協2012春闘討論集会
(大観)
- 5日(日)~6日(月) 県医労青年部南部・三陸ブロック交流会
(つなぎ)
- 9日(木) 県医労給食問題研究会(勤労福祉会館)
- 11日(土)~12日(日) 日本医労連看護・介護全国交流集会(伊東)
- 18日(土) 岩手医労連女性労働学校(水産会館)
- 18日(土) 岩手県原水協2012年度定期総会
- 19日(日)~20日(月) 県医労青年部北部ブロック交流会(つなぎ)
- 19日(日)~20日(月) 県医労青年部中部ブロック交流会
(瀬美温泉)
- 25日(土) 拡大支部長会議(県民会館)

県医労春闘学習会・旗開き 第147回中央委員会

■とき 1月20日(金)

春闘学習会 13時30分〜
新春旗開き 18時〜

1月21日(土) 9時〜

第147回中央委員会

■ところ ホテル大観(盛岡市つなぎ)

